

令和4年度 第2回 伊佐見小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年6月16日（木） 9時00分から11時15分まで
- 2 開催場所 伊佐見小学校 会議室
- 3 出席委員 池野 浩司、市川 光自、犬塚 三利、伊代田 尚志、小粥 裕里、
高橋 由佳子、中村 勝信、古橋 廣一、松原 圭吾、
村上 久美子（学校支援コーディネーター）
オブザーバー 鈴木（伊佐見協働センター）
教育委員会 小川 誠司
- 4 欠席委員 古谷 幸美
- 5 学 校 芦田 康宏（校長）、米山 由紀子（教頭）、長尾 夏未（教務主任）、
間渕 仁美（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 協議事項
（1）防災について
（2）子供たちの学習支援について
（3）子供たちを見守る活動について
- 8 会議録作成者 CSディレクター 間渕 仁美
- 9 会議記録
会議に先立ち、校内を回って授業の様子を参観し、子供たちに感想を伝えるメッセージカードを記入してもらった。

授業参観の感想

- ・タブレットは全員に配布しているのか。また何年くらいで習得できるのか。持ち出しはできるのか。（犬塚委員）
→タブレットは全員に配布している。何年間で全ての機能を習得するということではなく、学年に合わせて使っている。例えば、ローマ字は3年生で習うので、3年生からローマ字入力を行う。休校があればオンライン授業ができるように持ち帰らせることになっているが、今は持ち帰らせていない。（学校からの回答）
- ・校内の配置が分かりにくい。何年がどこなのか分からない。（犬塚委員）
→対応したい。（学校からの回答）
- ・以前は父親の授業参観への出席は少なかったが、今日見たところ、平日にもかかわらず父親の数が多かった。男性の教育への関心が高まっていると感じた。（池野委員）
- ・以前、指導主事の先生と話した際、学級に一步入れば雰囲気分かると言っていたが、それぞれのクラスがそれぞれの先生の個性に則ってのびのびとやっており、好感が持てた。（市川委員）
- ・前回の協議会の際は、参観日ではなかったので私たちだけが参観したが、今日は保護者がおり、全体的に明るく柔らかい雰囲気だった。（高橋委員）

議長の選出

前回の協議会で議長は小粥委員と決まっていたが、小粥委員が補佐として高橋委員を指名し、一同異議無くこれを承認した。

協議内容

(1) 防災について

教頭より緊急時の各地区の避難先と学校の避難手順について説明があった。

・津波の高さはどれくらいを想定しているか。以前の市の防災計画では2mだったが、この高さなら校舎の2階以上に避難した方が良いのでは。ただ、昔、今切口が切れたときは7mの津波が来たらしい。また、津波の到達時間はどのくらいと想定しているのか。津波の高さや到達時間を考慮した上で合理的な避難計画をして欲しい。(古橋委員)

→湖東中学まで避難する場合40分かかり、津波の到達時間も40分を想定している。津波の高さはハザードマップでは協働センターのところで50cmとなっている。地震発生から時間が経ってしまった場合は4階へ避難するが、それ以外は西江院へ避難することになっている。以前、常葉大の教授と市教委の健康安全課に視察してもらったが、校舎自体は耐震性があるが、液状化で校舎が傾く心配があると指摘された。運動場にいる児童の避難も、通常の地下道ではなく、横断歩道を渡った方が良いとアドバイスもらった。(学校からの回答)

・指示されて従うだけではなく、子供たちが自分で命を守るという指導をして欲しい。(古橋委員)

→理想は「てんでんこ」、自分の力で行動するのが一番だと思う。空振りを恐れず逃げるようにしたい。(学校からの回答)

・台北で台湾地震、千葉で東北大震災を経験したが、実際に地震が来たときに机の下に潜ったりするのは難しい。建物がどの位の震度まで耐えられるのかが重要。(中村委員)

・災害時には避難路が通行できなくなる場合もあるので、避難経路を複数設定して、避難訓練してほしい。(松原委員)

(2) 子供たちの学習支援について

学校支援コーディネーター(村上)から学習支援ボランティアの募集と活動について以下の説明があった。

・今年度から保護者にはさくら連絡網でボランティアの募集を行うことになった。

・読み聞かせボランティアは2名の新規加入があり、現在10名。慣れた方ばかりでスムーズに活動できている。もっと回数を増やしたいが人数が集まっていない。

・ボランティアに母親以外も参加しやすいように、対象を「お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、お兄さん、お姉さん」とした。伊佐地川学習には3名ほど父親が参加してくれた。

・3年生と5年生の伊佐地川学習が行われた。5年生は水質検査も行った。古橋委員(伊佐地川と浜名湖を愛する会会長)には講話も行っていただいた。

- ・古橋委員にお願いして飼育小屋跡地の畑の整備をしていただいた。
- ・クラブ活動は6月20日・27日・9月12日・26日（いずれも月曜）の14時から15時までで、昔の遊びやバドミントン、バレーなどができる方を募集している。
- ・図書室の整備や本の修復をする図書ボランティアを募集している。

ここで6年生担当の中村教諭より6年生の総合学習のボランティアについて以下の説明があった。

- ・6年生の総合学習で将来の職業について調べてスピーチをするというものがあるが、子供たちは身近な教員や自分の保護者、興味があることしか知らないので、どんな職業があってどんな仕事をしているのか知ることが必要。2年前にはダンスインストラクターの方に講話とダンスを披露していただいた。また、ぬくもり工房の方に、ご自身が小学生や中高生の頃の話をしてもらったこともある。今年は瓦職人の方にお願いしているが、他に1～2名お願いしたい。6年生全体が話を聞く予定だが、講師が多ければ各自興味のある話を聞くようにするかもしれない。講話の時間は45分から1時間ほど。時期は2学期後半を予定している。

この説明を受けて以下の意見が出た。

- ・複数の講師をお願いして、子供たちが興味のある話を聞けるようにしてもいいのでは。（学校支援コーディネーター村上）

（3）子供たちを見守る活動について

教頭より子供たちを見守る活動についてPTAの旗振り、青パト、スクールガードリーダーなどが活動している旨の説明があった。

- ・最近ではコロナで総会ができていないが、伊佐見地区には安全まちづくりの組織があり、交通安全と生活安全のための活動をしている。青パトは3台あり、それぞれ1ヶ月に3回、下校時から夕方までパトロールを行っている。地域安全担当は8名いる。（中村委員）
- ・子供がこの道を使ってはいけない、といったことはあるのか。（高橋委員）
→毎年そういった情報をもらっており、青パトでのパトロールでも注意している。（中村委員）
- ・青パトだけでなく保護者や地域の目も重要。（小粥委員）

予定していた協議はここまでだったがその他に以下の意見が出た。

- ・平成元年に設置された水車が古くなっている。水車は学校のシンボル。令和7年に伊佐見小は150周年を迎えるので、OBに声を掛け、お金を集めたらどうか。前回校長から質問があった校章のデザインについては知っている人がいない。
→せっかくだが、学校運営協議会はあくまでアイディアを出すだけで、金銭が関係する活動はできない。（教育委員会小川）
- ・校章の「伊」の文字は篆書体の文字に似ている。（小粥委員）
- ・次回の学校運営協議会から職員の業務軽減のためマイボトルを持ってきてはどうか。（村上委員）

・働き方改革は教育現場ではどうなっているのか。ストレスや無理・無駄を省き、ゆとりをも
って子供たちと向き合ってほしい。(犬塚委員)

→行事や会議の精選を進めているが、ただ行事を減らすのではなく、伊佐見小の子供たちに
必要なのは何かを考え、地域と学校が協力する形で働き方改革を進めていきたい。(学校か
らの回答)

・先生になりたい人が減っている。先生には教育にできる限り集中してもらいたい。(中村委
員)

小粥議長が次回の議長として伊代田委員を推薦し、一同異議無くこれを承認した。

学校から、次回は令和4年10月18日(火)の午後に会議室で開催、「中間発表」と「学校評
価」を議題とする旨、説明があった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和4年6月16日